

陶磁器製造（下絵付け）



いちかわ たつお
市川 龍男

昭和 27 年生

伊万里市

昭和 42 年に伊万里市の窯元に入社し、伊万里焼の成形作業、絵付作業に従事し、特に絵付作業において高度な技法を修得した。

平成元年に龍仙窯を開業し、主に花瓶・額皿などの装飾品を手がけ、焼成技法の研究や伝統的な絵付けの技法を用いた、より現代的な表現方法に取り組んでいる。